

# 日向東臼杵南部 広域連合だより

構成団体 日向市 門川町 美郷町 諸塚村 椎葉村  
ホームページ: <http://www.city.hyuga.miyazaki.jp/rengo>

【第14号】

平成19年10月発行  
日向東臼杵南部広域連合  
〒883-0034  
日向市大字富高2192  
TEL(0982)53-3401  
FAX(0982)52-7889

椎葉村では、今年度から燃やせるごみを広域連合清掃センターへ搬入しています。去る9月7日椎葉村の環境美化推進員が清掃センターを見学に行きました。椎葉村内10地区から選ばれた12名の環境美化推進委員が各地域で不法投棄パトロールやごみステーションの巡回やごみの分別や減量の指導を行っていています。この日は環境美化推進員のうち7名の皆さんが、当施設と、ひゅうがリサイクルセンターを見学しました。



椎葉村環境美化推進員の視察の様子

また、去る10月12日には、諸塚村内の三つの小学校から4年生18名の皆さんが見学に行きました。諸塚村の諸塚小学校、七ツ山小学校、荒谷小学校では毎年、清掃センターを見学して環境問題の学習をしています。児童の皆さんからは「清掃センターで処理するごみの量は、県内で何番目に多いのか」や「ごみを燃やした後の重さは燃やす前のごみの重さの何分の一くらいになるのか」などの質問が寄せられました。



諸塚村の小学校が視察に来訪

各施設の見学の申し込みは随時受付ています。お気軽にお申し込み下さい。



広域連合では、火葬場の管理・運営も行っています。去る10月2日、大分県豊後高田市の議会議員の皆さん10名が、日向地区斎場東郷霊苑の視察に来られました。



豊後高田市議会議員の皆さん

## ～ おもな内容 ～

- |                               |                                |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 1 P 施設見学に来ませんか                | 5 P 18年度決算見込み                  |
| 2 P 平成18年度ごみ処理量対前年度比880トンの減量! | 6 P ごみ搬入場所のお知らせ<br>年末ごみ搬入のお知らせ |
| 4 P 議会だより                     |                                |



平成18年度  
燃やせるごみの処理量  
対前年度比約80%の減少

広域連合清掃センターでは、構成市町村（日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村）の燃やせるごみを処理しています。平成18年度のごみ処理量は、約3万7千7百トン。1人1日当たり918グラムの燃やせるごみを出していることとなります。この量を多いと思いますか、少ないと思いますか。

ちりも積もれば山となる  
1人1日918グラム

全ての構成市町村で処理した燃やせるごみは年間3万7千7百トン（表1）。対前年度比で880トンの減量。日向市（旧東郷町分を含む）では前年度比807トンの減量でした。

いっぽう、1人1日当たり（表2）排出量に換算すると、918グラム。4人家族で1日当たり3・7kg、1年では、なんと1・



ごみ質分析の様子

清掃センターでは、毎年ごみ質分析を実施しています。その結果（図1）、一番多かったのが紙・布類で51%、厨芥類（生ごみ類など）が14%などとなっています。例えば、リサイクルできる紙ごみを、できる限り資源物として古紙回収に出せばごみの量はもっと減らせます。

ごみの中身をのぞいてみる

また、この量を市町村別に見ると一番多いのは日向市で、1,017グラム。一番少ないのが、椎葉村の349グラム。椎葉村ではごみ処理の有料化を実施しており、このこともごみの減量につながっていると思います。

よりいっそうの資源化で  
ごみの減量を！

清掃センターでは、今年度から美郷町西郷区と椎葉村のごみも当施設へ搬入され全市町村の燃やせるごみを処理しています。

今後は、燃やせるごみに含まれている資源物の分別・資源化をいっそう進め、燃やせるごみの量を減らすことが課題です。

ご存知ですか？  
あなたのまちの資源物の  
分別品目は何品目？

各市町村の資源物の分別状況を表3に大まかにまとめました。

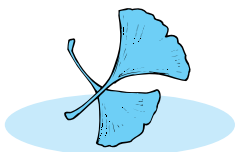
回収品目が最も多い美郷町南郷区では、1人1日あたり燃やせるごみの排出量は、約250グラム（平成17年度）と、日向市の排出量の4分の1以下でした。これは、美郷町南郷区では、水分を多く含む生ごみを、資源物として回収しているためではないかと思われ

各市町村のいっそうのごみ減量の取り組みが期待されます。

燃やせばごみ、  
分ければ資源

広域連合は五年間ごとの事業推進指針を「広域計画」で定めています。この中では、現在市町村ごとに異なっている燃やせるごみの資源化を統一すること、そして燃やせるごみの減量を図ることを目標に掲げています。

よく言われることですが、「燃やせばごみ、分ければ資源」です。住民の皆様のご協力をいただき、ごみをいっそう減量しながら清掃センターの適正な管理・運営を図ってまいります。



市町村別資源物等の分類品目の状況(表3)

(平成19年9月30日現在)

品目	古紙類	ペットボトル	容器トレイ	布	生ごみ	空き缶類	ガラスびん類
日向市	○	○	○	○	×	○	○
門川町	○	×	×	○	×	○	○
美郷町南郷区	○	○	○	○	○	○	○
〃 西郷区	○	○	○	○	×	○	○
〃 北郷区	○	○	○	○	○	○	○
諸塚村	○	○	○	○	×	○	○
椎葉村	○	○	○	○	×	○	○

市町村別燃やせるごみの年間処理量(表1)

(単位:トン)

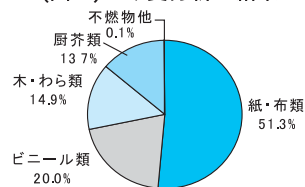
年度	16年度	17年度	18年度
日向市	23,734	23,494	23,492
東郷町	717	805	
門川町	6,637	6,559	6,580
美郷町			861
南郷区	224	218	(208)
西郷区	384	330	(380)
北郷区	263	295	(273)
諸塚村	370	354	294
椎葉村	425	485	435
合計	32,754	32,540	31,662

1人1日当たりの燃やせるごみ排出量(表2)

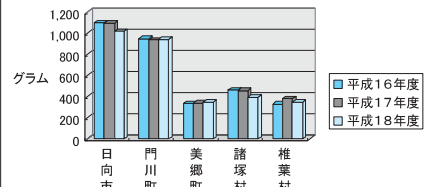
(単位:グラム)

年度	16年度	17年度	18年度
日向市	1,100	1,097	1,017
東郷町	397	453	
門川町	951	934	942
美郷町	338	340	353
南郷区	250	255	
西郷区	396	353	
北郷区	371	412	
諸塚村	464	459	396
椎葉村	330	383	349
合計	935	936	918

(図1)ごみ質分析の結果



1人1日当たり燃やせるごみ排出量



京野邦生

日向東白杵南部広域連合 副長  
京野 邦生  
(日向市副市長)



平成19年6月29日に、日向東白杵南部広域連合の副長に就任いたしました。

広域連合の業務は、圏域が一体となって取り組んでいるごみ処理施設や、斎場の管理・運営など住民生活に直結した大変重要な業務です。

今後は、黒木広域連合長を補佐し業務の円滑な運営を通じて、住民の福祉の向上に全力を挙げてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

広域連合

議会だより  
平成19年第2回議会

正副議長を選出



内山田善信 副議長 甲斐 敏彦 議長

6月29日、平成19年第2回議会(定例会)が開催されました。  
広域連合の議員は構成5市町村の議会議員から選ばれた19人です。今年4月の統一地方選挙後、初の議会となった今回の議会では、議長、副議長選挙や各常任委員会委員の選任を行い、

審議した議案とその結果

【平成19年第2回議会】

- 副長の選任について (同意 全員一致)
- 監査委員の選任について (同意 全員一致)

議長に甲斐敏彦議員(日向市)、副議長に内山田善信議員(門川町)を選びました。

副長、監査委員を選任  
今回の議会で広域連合長から提出された議案は、「副長の選任について」「監査委員の選任について」の2件でした。両議案とも広域連合長が提案理由の説明を行い、採決の結果原案のとおり同意されました。副長の選任は、助役の金

丸裕一さんの選任(本年3月末)に伴うもので、日向市の副市長の京野邦生さんが選任されました。副長の役職は、地方自治法の改正に伴い平成19年4月1日から助役に代わり設けられたもので、構成市町村の副市長のうちから選任されます。  
また、本広域連合では監査委員2人を置くことされており、うち1人は議員のうちから選任することになっています。今回の議会で美郷町の日高壽次郎議員が選任されました。

また、任期満了に伴い選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行いました。広域連合には、直接請求制度が設けられており、そのため選挙管理委員会を設置することが義務付けられています。  
選挙管理委員の選任は議

次回は、11月22日に

副長	京野 邦生
監査委員(議会選出)	日高壽次郎(美郷町)
選挙管理委員会委員	後藤 恵
補充員	黒木 輝章
	新名恵美子
	中谷 敏
	黒木佐代子
	岩見 次夫
	児玉 典子
	松本 政司

選任・当選された方々は次のとおりです。(敬称略)

会では選挙することとなり、おり4人の委員及び4人の補充員が選挙されました。

広域連合議会議員

平成19年9月30日現在

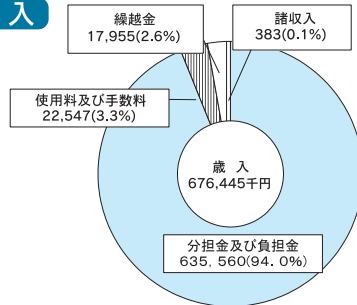
議長	甲斐 敏彦(日向市)
副議長	内山田善信(門川町)
議員	柏田 公和(日向市)
	田原 千春(日向市)
	松葉 通明(日向市)
	岩 切 裕(日向市)
	鈴木 三郎(日向市)
	江 並 孝(日向市)
	甲斐善重郎(日向市)
	朝倉 利文(門川町)
	安 田 修(門川町)
	日高壽次郎(美郷町)
	甲斐 保男(美郷町)
	菊田 彦市(美郷町)
	西田喜一郎(諸塚村)
	中本 洋二(諸塚村)
	甲斐 美義(椎葉村)
	椎葉 芳一(椎葉村)

(選出市町村別、敬称略)

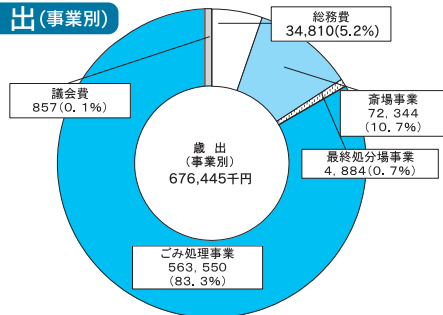
平成18年度の決算(見込み)がまとまりました。

広域連合は、市町村(構成団体)が共同して事務処理を行う「組合」です。そのための経費のほとんどは、構成団体が負担する「分担金」で賄われています。昨年度の決算額は、歳入歳出総額約6億7千6百万円でした。歳出のうち83%の約5億6千4百万円がごみ処理事業費でした。決算は、11月議会で審議されます。

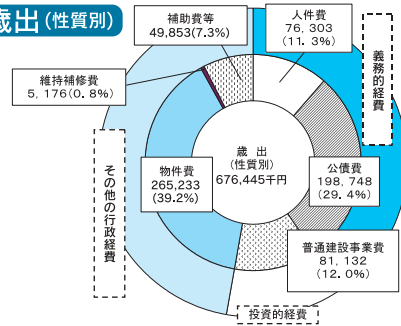
歳入



歳出(事業別)



歳出(性質別)



(単位:千円)

市町村名	一般管理費	斎場事業	最終処分場事業	ごみ処理事業	合計
日向市	19,215	29,145		291,718	340,078
門川町	7,721	9,526	2,612	95,897	115,756
美郷町	3,662	6,355	1,091	34,201	45,309
諸塚村	3,430	2,583	510	28,101	34,624
椎葉村	1,578	2,156	671		4,405
合計	35,606	49,765	4,884	449,917	540,172

広域連合が行う火葬場、最終処分場、ごみ処理施設の管理・運営業務に対して、構成市町村が、平成18年度5億4,017万円の分担金を負担しました。

平成18年度に行った主な事業

日向地区斎場郷霊苑	清掃センター	その他の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>火葬件数(1,001件)</li> <li>空調設備保守点検、自動扉保守点検等を新規に実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4トンドンプ更新、ダイオキシン類測定</li> <li>火格子改修工事、排ガス処理設備改修工事(2号)など実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮崎県一部事務組合連絡協議会担当者会議開催(10月26、27日:写真)</li> <li>規約及び広域計画の変更</li> </ul>

# 燃やせるごみと燃やせないごみ・・・持ち込み場所のお知らせ

広域連合清掃センターに隣接する日向市不燃物処理施設の閉鎖に伴い、不燃物の搬入場所が変わりました。ごみの持ち込みをされるお客様にはご迷惑をおかけしております。燃やせるごみと古紙類の資源物は、従来どおり当清掃センターへ持ち込めます。

なお、持ち込みは日向市民のみ、受入れ時間は午前8時30分～正午、午後1時～午後4時です。



## ◆燃やせるごみ◆

- 施設 日向東白杵南部広域連合清掃センター
- 場所 日向市富高2192番地
- 電話 0982 (53) 3401
- 持ち込みできる物  
燃やせるごみ、新聞雑誌等の資源物
- 閉庁 土曜、祝日及び  
12月31日午後～1月3日

## ◆燃やせないごみ◆

- 施設 ひゅうがりサイクルセンター
- 場所 日向市竹島町1番地86
- 電話 0982 (55) 0055
- 持ち込みできる物  
燃やせないごみ、粗大ごみ、資源物  
(紙類を除く)
- 閉所 12月31日、1月1日～3日

## 清掃センター及び ひゅうがりサイクルセンター地図



日向市民の皆様へ  
年末・年始の  
ごみ受入れのお知らせです。

燃やせるごみの受入れは、12月31日午前中まで、

不燃物の受入れ日程と違います。ご了承ください。

○受入日

年末 12月29日から31日正午まで

年始 1月4日から通常どおり

○時間

午前8時30分から正午

午後1時から4時(12月31日は正午まで)

○持ち込みできる物

燃やせるごみ、資源物のうち古紙類

年末のこの期間は、搬入される方が多く大変混雑するため、直接搬入される皆様にはご迷惑をおかけします。ごみを出される際には各ごみステーションをご利用いただくかお早めの持込をお願いいたします。

※なお、燃やせないごみの「ひゅうがりサイクルセンター」は年末の営業は12月30日まで。

## 編集後記

10月1日から7日まで、全国労働衛生週間でした。ご存知でしたか。「こころにゆとり、からだに余裕、みんなで作る健康職場」がスローガン。職場の安全の確保も心のゆとりあってこそ。忙しい皆さん、どうやってゆとり作っていますか。(K)